

会 議 録 (要点筆記)

会 議 名	第3回 米原市幼稚園の在り方検討委員会
開 催 日 時	令和3年12月20日(月) 19時00分～20時30分
開 催 場 所	WEB会議 ※一部委員は市役所山東支所2AB会議室設置のWEB会議用パソコンで参加
出席者および欠席者	出席委員：8人 西川正晃委員(会長)、馬淵孝子委員(副会長)、 阿原光宏委員、竹中礼子委員、金澤博文委員、北川真依子委員、 高橋容子委員、千葉泰治委員 事務局： 立木くらし支援部長、口分田こども未来局長 保育幼稚園課 小寺課長、山田課長補佐、今村課長補佐、笥
議 題	1 市民アンケート調査の結果について 2 民間園ヒアリング調査の結果について 3 幼稚園の今後の在り方について
結 論	・アンケート調査、民間園ヒアリング調査の結果から考えられる幼稚園の今後の在り方について協議を行った。 ・次回第4回検討委員会で答申のたたき台の協議を行うことを決定した。
審 議 経 過	1 開会 (事務局から開会あいさつ) 2 あいさつ (会長から開会あいさつ) 3 協議事項 (資料1、2、3、4について説明)
事務局	
会長	資料の内容を踏まえて、幼稚園の今後の在り方について各委員御意見を申し上げます。 私の意見ですが、まずアンケート調査の結果は、今の日本の子育て事情を反映した数値だと思います。 共働き家庭、もしくは希望する家庭の割合が8割を超えています

	<p>が、国が目指している女性の社会進出 80 パーセントの数値と重なる部分があり、その数値にほぼ達成する時期に近付いたことが伺えます。</p> <p>このことにより、子どもの長時間の預かりが可能な認定こども園等の施設を希望する方が今後も増えることが見込まれます。</p> <p>また、説明資料 4 の「協議にあたり、お願いしたい視点」の 4 番に関わることですが、一番に考えるべきことは、施設が存続する、しないに関わらず今幼稚園に通っている子どもたちが絶対に不利益にならないことだと思います。</p> <p>その視点はやはり私たち大事にしなければならないと思います。また、他のお願したい視点として事務局が提案している「施設の在り方を変更する場合いつが適当か」、「施設を具体的にどうするか」、このあたり皆様から御意見を頂ければと思います。</p> <p>繰り返しになりますが、忘れてはいけないのは、自分への戒めも含めて今幼稚園に通っている子どもたちの最善の利益を考えなければならない。その視点で、検討することを私は希望します。</p> <p>アンケートの意見から、保護者の皆さんの意向として、建物は維持し、その中で使い方を考えていきたいという意見があったと思うので、在園児の為にもまず雨漏りの修繕は早急にとりかかった方がよいかと思います。</p> <p>あと、長時間の預かりを実施する方法としては、他に長時間の預かりをする方法があればわかりませんが、認定こども園に移行する手段しかないのではないかと思います。</p> <p>また、多目的な遊び場として活用をすることも存続のための一つの手段かと思います。民間園の方から、私がこの検討委員会で提案しているオルタナティブ教育の研修を受けてもよいという御意見も伺ったので、多目的な遊び場として活用する中で、そういった活動も取り入れることもよいのではないかと考えました。</p>
<p>委員</p>	<p>雨漏りの修繕は予算をかければ早急に対応できると思いますが、長時間の預かり保育は、認定こども園への移行ではなく、預かり保育を実施することでも可能かと考えられます。一方で、長時間の預かりの実施は、他の民間園と競合して行くことも考えられます。</p> <p>また、多目的な活用が施設の存続の方法で、その例として、オルタナティブ教育などの研修を実施し、特色を出すという意見でした。</p>
<p>会長</p>	

事務局	<p>多目的な施設の活用方法として、例えば、日本では「冒険遊び場」や、子育て支援施設を併設した彦根にある子どもセンターのような活用方法など様々な用途が考えられます。そのあたりについても、御意見があればいただきたいと思います。</p> <p>事務局、雨漏れの修繕は早急に実施することは可能でしょうか。</p> <p>雨漏れは広範囲で、全部の雨漏れを止めることは困難な状況にあります。今は可能な範囲で補修をしていますが、必要性は感じていません。</p>
委員	<p>まず、資料4の「幼稚園として運営を継続することについて」ですが、アンケートの結果から、幼稚園として運営を継続することは、保護者のニーズに合っていないことは明らかになったのではないかと思います。預かり保育を延長して、幼稚園ではなくて別の形態の施設として、継続する方法もあることが考えられます。</p> <p>次に、「施設の在り方を変更する場合いつが適当か」という話もありますが、令和4年度の入園児を募集されてることから、その子どもたちが、卒園するまでは最低でも施設を維持するための費用は必要かと考えられます。</p> <p>また、山東幼稚園の今後の在り方ですが、今の保護者のニーズから認定こども園に移行することも考えられますが、山東地域は民間園が3園ありますので、そのあたりが難しいところであり、そこは皆さんと協議する必要があると思います。</p>
会長	<p>幼稚園としての継続が、難しい状況が結果から出ているという意見です。また、預かり保育も含めて、認定こども園に移行することが、どういう状況になるのか検討が必要であり、施設の在り方の変更の時期は少なくとも、令和4年度に入園予定の子どもたちが卒園するまでは施設の維持も含めて、対応する必要があるという意見でした。</p> <p>事務局、認定こども園に移行するには改修が必要であり、給食に関する設備の増設など、予算的には難しいという御発言が以前ありましたが、もう一度確認させてください。</p>
事務局	<p>認定こども園に移行した場合、長期休業期間中は給食を自園で調理する必要があるため、幼稚園の施設改修が必要であり、財政的に</p>

委員	<p>困難なところです。</p> <p>私どもの園では、現在4、5歳児の子どもたちが33人いる中で、10人が小学校区外の地域から通っています。</p> <p>認定こども園への移行が財政的に厳しいというお話でしたが、幼稚園が認定こども園に移行した場合、お預かりする子どもの数が減ってしまうことになるので、民間園は運営していくのが厳しくなります。</p> <p>昨年、私どもの園は認定こども園に移行しましたが、市からも今後は認定こども園に移行して、地域のお子さんの受け皿を担えるようにと意見を伺っています。</p> <p>今後、幼稚園がどうなるかわかりませんが、民間園のヒアリング調査の意見でもありましたが、地域の受け皿として今と同様に運営させていただきたいと思っています。</p>
会長	<p>民間園が地域の受け皿となり得るということ、山東幼稚園が認定こども園等に移行した場合、民間園の経営が維持できなくなるという意見です。</p> <p>これは、他園も含めてということで、切実な意見を出していただきました。</p>
委員	<p>アンケートの実施により、山東幼稚園が廃園になると保護者の中からは意見が出ています。今回の資料も廃園が見込まれるような内容のように思えます。</p> <p>保護者の中で、このアンケートが実施されたことにより、令和4年度の山東幼稚園の入園を取りやめた方がいます。その方から、幼稚園は今後どうなるのかということはこの検討委員会の委員である私に強い口調で仰っていました。</p> <p>私の子どもは、現在山東幼稚園に通っています。園の教育・保育内容から、民間園に通えず、山東幼稚園がいいという方もいますので、形態を変えて存続する必要があるというのが保護者の思いです。</p>
会長	<p>形態を変えて存続しなければならないというのは、教育・保育施設としてという意味でしょうか。</p>
委員	<p>そうです。</p>

<p>会長</p>	<p>財政的な面から運営が難しいという意見がある一方で、保護者の立场上そういう御意見があるのは、当然だと思います。</p> <p>その中で今伺った、教育・保育内容から民間園を選べないという意見についてですが、アンケートの意見では、習い事についていけない子もいるという意見もあれば、英語教室、ひらがな教室のような学ぶ場が欲しいという意見もあります。相反する意見ですが、今程の発言は非常に重要で、存続するしないに関わらず、米原市の公立、私立含めて、教育・保育内容が指針、要領に則ったものであるかどうか重要だと思います。</p> <p>様々な内容の教育・保育がありますが、指針、要領に則った保育ができていくかどうかというところはすべての基本だと思います。</p> <p>保育所保育指針、幼稚園教育要領では、小学校の授業でやるような短期的な結果を求めるような内容の保育は、保育とは異なるということが書かれています。そのことをどう解釈するのかというところもありますが、保育の質の向上という部分を米原市全体でやっていくということが、私は今の御意見から重要なポイントではないかと思っています。</p> <p>教育・保育内容について具体的にどんな内容に不安を感じるか、わからないと思いますが、少なくとも指針、要領に則った内容の教育・保育内容かどうかということは、重要なポイントです。</p> <p>施設がどうなるかということも含めてですが、必ずその根底に流れなければならない考え方で、市長に答申する場合、そのあたりは含めていただけないかと思っています。</p> <p>申し訳ありません。今程の御意見から少し逸れましたが、私はそう思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今回のアンケート結果を確認させていただきましたが、今の保護者の意見の特徴、そこから課題を感じられました。</p> <p>このアンケートから、過去の市内の様子を振り返りましたが、米原市は4町（旧米原町、旧近江町、旧山東町、旧伊吹町）が合併した市です。その中でも、旧山東町域の山東地域は早い時期から、幼稚園が設立されてました。他の地域はどちらかと言うと保育所が主流で、後に続く形で幼稚園が設置されました。</p> <p>山東地域は、保育所しか通えないというお子さん以外は、就学前の1年間は5歳児の幼稚園教育を受けるということをしてきた経</p>

緯があります。それが、時代の流れで4、5歳の2年保育になり、小学校区毎に1つあった幼稚園が一つに統合されて山東幼稚園が設立されました。私は元々市外から転入した者ですが、この山東地域の取組みに感銘を受けました。

アンケートの結果も出ているように、今の時代、女性の社会進出で共働きの保護者が多く、家で子育てをされる方が少なくなり、社会が変わってきています。

幼稚園、認定こども園ともに幼稚園教育や、乳幼児の保育が展開されていて、幼稚園という名前にこだわる必要はないかと思います。

米原市の今までの経緯を見ていますと、公立の保育所、幼稚園は認定こども園に移行し、幼児教育を実施されてきた経緯があります。

まず伊吹地域で認定こども園が設立され、次に近江、米原の順に公立の幼稚園、保育所が統合されて認定こども園が設置された経緯があります。そこで、山東地域は、民間園があるので統合が難しく、課題となっているということが、第1回目のときにもお話があったと思います。

伊吹地域は民間園がないため認定こども園への移行がしやすかったこと、米原、近江地域は民間園もありますが、子どもの数もあり、認定こども園への移行も進んだことが考えられますが、山東地域は少子化の状況もあり、認定こども園への移行が進まなかったのだと思います。しかし、幼稚園という名前はこだわらずに、保護者のニーズにあった認定こども園への移行というのは、考える時期に到達していると思います。

施設の改修費用の問題はありますが、山東幼稚園で令和4年度の入園児童が卒園する3年後に縦割り保育というようなことも考えていくのも一つだと思います。子どもの発達段階が気になりますので、急に縦割り保育を実施するよりは、4、5歳の異年齢で、その日のどこかの時間で交流し合う保育の内容も考えられるのではないかと思います。

また、今の山東地域は公立と私立施設があり、保護者は保育内容や園の方針など様々な理由で通園先を選ばれていると思います。

アンケートでは施設に対するニーズは、小学校区が高かったことから、同じ小学校区内で保護者が内容を検討して施設を選ぶ権利はあると思うので、これはあくまで案ですが、小規模な認定こども園を山東地域に新しく建てることも考えられるのではないかと思います。そして、今の山東幼稚園は委託し、子どもに還元されるような

	<p>活用方法で施設の在り方を考えてもいいのではないかと考えられます。</p> <p>子どもは通園先を選べないので、親が教育・保育方針を選べる環境が大事であり、私立園の特色と公立園の特色が互いに刺激し合って、質の良い教育・保育内容に繋がっていく環境は維持する必要があると思います。</p> <p>アンケートの結果から答えを出すのは難しいと思いましたが、自分なりの考えをお話させていただきました。</p>
会長	<p>市内の幼児教育の経過について御説明いただきました。地域の特色がわかります。また、集団規模を確保する意味で、縦割りの年齢での保育も必要ではないかという御意見もいただきました。</p>
委員	<p>私もアンケート結果を確認させていただいて、今の社会状況を反映したものが確認できたと思いました。</p> <p>私が注目をさせていただいたのが、意見要望等の文章で回答いただいた部分ですが、未就園の方に関しても、在園児の方に関しても、認定こども園に施設を変更するなど、施設の継続を希望する意見がかなり多くあったことです。もちろん、施設の存続は難しいという意見もあったことも確認しましたが、施設の在り方を変更して継続するという意見が多かったところが、私の心に残りました。</p> <p>そして、先程の意見でもあった公立園としてというあたりも、地域内で民間園と公立園の両方がある環境は大切にすべきであり、保護者が施設を選択できる環境は考えていかなければならないと思います。</p> <p>また、幼稚園のままでの施設の継続は困難なところに到達しているのだと思います。民間園のヒアリング調査の意見でもあったように、現状2時以降の預かり保育もされている状況からもそれは伺えます。</p> <p>そのため、私はこの検討委員会で当初から話しさせていただいている3歳以上児が利用する幼稚園型の認定こども園が適しているのではないかと考えています。</p> <p>ただ、もう一つの自分の意見を言うと、山東地域の少子化がどれくらい進行するのか悩むところです。</p>
会長	<p>公立、私立を選択できる環境を大事にしたいという御意見はよく</p>

	<p>わかります。公立がなくなると、公立、私立が選択できなくなるのは山東地域のみですから。</p> <p>今の御意見の中で、御提案されていた幼稚園型認定こども園とは、幼稚園を基本にしながら預かり保育などを実施する施設です。この場合、預かり枠の拡大が少子化によりどこまで影響が見込まれるのか難しい所です。</p> <p>事務局、幼稚園型認定こども園の場合、弁当等の持参により給食設備が不要な施設の運営方法も考えられますが、予算的に可能でしょうか。</p>
事務局	<p>今手元に幼稚園型認定こども園に関する情報が少ないので、お答えはできません。</p>
会長	<p>幼稚園型の認定こども園は、地方では数が少ない施設です。具体的な数値は今手元にありませんが、ほとんどが幼保連携型認定こども園だと思います。地方では、どちらかと言うと幼稚園型よりも保育所型認定こども園の方がまれですが、設置されているかと思いません。</p> <p>給食設備等の改修が不要な運営方法もとれる幼稚園型認定こども園もあるという御提案と、少子化をわかっていながら幼稚園型認定こども園として施設の在り方をとることが適当なのかというジレンマが今の御意見から伺えたように思いました。</p> <p>事務局には幼稚園型認定こども園について、御確認いただきたいと思えます。</p>
委員	<p>親の視点でお伝えしたいのですが、民間園の方が地域の受け皿になるという御意見を伺いましたが、私の子どもは地域の小学校に今度進学する予定です。しかし、もし通園先の園が学区の異なる施設であった場合に、子どもが小学校進学時に、仲間がいないことで、いじめに遭うのではないかと思います。子どものことを考えるとそれが1番心配です。</p> <p>子どもが仲間はずれにされて、学校に行けなくなり、最も悪い事態として自殺となった場合、小学校区の保育所や幼稚園に行けないことで悔いが残るようなことにならないよう考える必要があると私は思います。</p>

委員	<p>私どもの園からは来年度に学区外の小学校へ進学する子どもがいます。4歳児以下の子どもの中にもいます。昨年度も同じ状況です。</p> <p>先日、学区外の小学校に入学されたお子さんの保護者が来園されて、卒園後のお子さんの様子をお話されました。その際に最初は小学校に馴染めなかったのですが、2学期になり他のお子さんとも仲良くできている様子を伺えました。</p> <p>小学校区内の園に通えないことへの保護者の心配はあると思いますが、逆の事も考えられます。例えば、同じ園で育った子の中でいじめが起こる可能性も考えられると思うので、1人だけ通っていた園が違ったからいじめに遭うという事ではないと思います。</p> <p>小学校の先生から子どもの進学後の様子について御意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>1人だけ違う園から来たことが、いじめの直接の要因になる訳ではないと思っています。確かに1番入学生が多い園から来た子どもたちの人間関係が最初は影響しますが、今の2学期になると、他園から来た子どもたちとも一緒に仲良くできていますので、それが要因で直接いじめに遭う訳ではないと思っています。</p>
会長	<p>いじめに関しては、様々な要因が重なり合うので、確かに通園していた園が影響することはあるかもしれませんが、逆の部分もあり、通園先が異なることでいいこともある場合も考えられます。</p>
委員	<p>私の子が、小学校区外の園に通園していて、そのまま小学校に進学した場合、馴染めないと思います。幼稚園でも初めて行ったときに馴染めずに、なかなか連れて行けませんでした。</p> <p>小学校も同じで、学区外の園から小学校に進学した場合、子どもは登校を拒否すると思います。聞いた話では、遠方から引っ越して来られた方が学区外の園に通園していて、小学校進学後に子どもが登校拒否をして、2学期になった今もまだ登校できていないと聞きます。</p> <p>小学校区内の園に通園できないことで、保護者の中で苦しむ方も出てくるのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>例えば仮に他の教育・保育施設へ通園することになったとしても今の御意見は、最初に申し上げた子どもたちの最善の利益を考える</p>

<p>委員</p>	<p>に当たり、踏まえるべきポイントだと思います。</p> <p>国でも動いていますが、幼小の連絡協議会等を厚くするなど、幼小の連携を固める配慮は重視する必要があります。小学校進学にあたり学区が変わる、1つの園から複数の小学校に進学する状況となった場合、特に配慮が必要な留意点として、考える必要があると思います。</p> <p>内容的な話ですが、今後施設がどういう在り方になるとしても、子どもたちがいきいきとして、これからの社会に送り出すという意味では、私はやはり教育の内容が大事だと思います。</p> <p>今まで私はオルタナティブ教育の実践と漠然とした内容を話していましたが、今私が通うシュタイナー学校の養成講座や、イタリアで発祥された教育方法であるレッジョ・エミリアや、イギリスのチャールズ皇太子が推薦するSDGsの最先端の学校の本などから、ESDという持続可能な開発のための教育を実践するのに私はこの米原という場所が本当にふさわしいと考えています。</p> <p>子どもたちと接する中で大人がこういった教育の研修を背景に持つということが大事だと思っているので、ぜひ、今後の建物の活用方法として取り組んでいただけることを私は希望します。</p>
<p>会長</p>	<p>レッジョ・エミリア、シュタイナー教育など具体的な御意見をいただきました。シュタイナー教育は、自然を大切に、子どもの感性・想像力を大事にするという特徴がある教育方法であり、レッジョ・エミリアはドキュメンテーションと言う保育で実践していることなどを記録して、様々な方が見れるようにするイタリア発の教育方法となります。</p> <p>それぞれ利点がありますが、米原の環境の良さを活かした教育を充実して行く必要があります。教育施設・保育施設、子育て支援関連施設など、どんな施設の在り方としてもその点は大事にしたいという御意見を頂いたと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>先程小学校の実態をお話させていただきましたが、子どもの特徴を捉える時には、就学前の段階から子どもの様子を理解した上で、小学校で子どもを迎えることが大切かと思います。学校は友達と楽しく過ごせるから行く子が多く、勉強が好きだから学校に行く子は少ないと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>山東地域にある民間園、公立園、それぞれの園で一緒に遊んできた友だちが小学校に入学する形が一番望ましいと思いますが、先程の御意見でもあったように、山東地域では少子化が見込まれる状況であり、少子化さえなければ民間園、公立園は一緒に共存していくことはできるかと思いますが、少子化の進行の程度は気になる所です。</p> <p>学校では入学してくる子どもたちの特徴を把握し、いじめが起こった場合は法律に則って対応をしていますので、そこはお伝えさせていただきたいと思います。</p> <p>私が先程申し上げた幼小連携の部分について、通園先に関わらず、連携を密に取ることは、就学される前にある程度可能なのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>幼小の連携は、私どもの小学校の場合は必ず行っています。例えば、私どもの小学校に入学の予定がある場合は、例えその園から1人しか入学して来ない場合であっても、その園の担当の方に来校いただいております。必要であれば、市外の園の方にも来校いただく場合があります。そして、入学後ももう一度来校いただいております。連携はしているつもりです。</p>
<p>会長</p>	<p>幼小の連携により、保護者が子どもに関する不安などを園に伝えていただくことにより、小学校と共有され、子どもたちの集団生活の支援になると思います。</p> <p>今後どのような在り方になったとしても必要になることだと考えられます。</p>
<p>委員</p>	<p>学校では皆仲良く遊んでいますが、学校以外の見えないところで、通園先が違った子からいじめを受けたという話を聞いたことがあります。私も悩んだ時期があります。</p>
<p>会長</p>	<p>子どもたちの生活の中で起こったことを丁寧に見ていくということは必要だと思いますし、その状況、起こった事例に対して、関係する者が、連絡を密にとっていくということは考える必要があるかと思っています。</p>

今回御意見いただいた内容を基にして、事務局で答申のたたき台を作成いただき、次回協議をお願いしたいと考えています。

それでは、次第の4その他について、事務局から御説明申し上げます。

4 その他

(次回日程調整の方法等を説明)

5 閉会

(副会長から閉会のあいさつ)